

## セッション1

「今求められる教育の質とは—多様な視点から—」



### 【モデレーター】

ホ・タン・ミ・フン

東南アジア教育大臣機構教育研修センター教育経営部部长兼教育研修センター副センター長

### 【パネリスト】

ジョセフ・アンピア

ケープコースト大学上級講師、理数科教育学部長、初等教育質向上調査センター（CRIQPEG）所長

瀬沼 花子

国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎教育部総括研究官

ダニエル・シフナ

ケニヤッタ大学教育学部教授

エクトル・バルデス

ユネスコラテンアメリカ地域事務所教育の質評価調査事業長、元キューバ中央教育科学研究所長

## 【モデレーター】

### ホ・タン・ミ・フン

東南アジア教育大臣機構教育研修センター教育経営部部长兼教育研修センター副センター長

2004年にサザン・カリフォルニア大学(米国)で教育博士号を取得。2004年から2007年までギアン大学(ベトナム)コミュニティ開発リソースセンター長、ギアン大学研究・国際関係室室長を歴任。教育研修センターでは、世界銀行、アジア開発銀行などの外部資金を獲得して、SEAMEO加盟国、アフガニスタン等からの教育経営研修受入れを行っている。

## 【パネリスト】

### ジョセフ・アンピア

ケープコースト大学上級講師、理数科教育学部長、初等教育質向上調査センター(CRIQPEG)所長

ガーナ国ケープコースト大学博士(理科教育学)。同大学上級講師、学科主任を経て、研究所所長。広島大学教育開発国際協力研究センター客員教授を経て、現在同大学客員研究員。これまでアフリカ諸国、英国、日本、オランダの研究者と共に多数のプロジェクトに参加。

### 瀬沼 花子

国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎教育部総括研究官

1983年に国立教育研究所入所、数学教育研究室長(1998-2001)を経て、2001年より現職。専門は数学教育。IEA国際数学・理科教育動向調査(TIMSS1999、2003、2007調査)では、数学問題検討国際委員、及び、算数・数学の国内調査責任者を、OECD生徒の学習到達度調査(PISA2003、2006調査)では数学専門家国際会議のコンソーシアムを務める。

### ダニエル・シフナ

ケニヤッタ大学教育学部教授

ケニア国ケニヤッタ大学教育学部教育史・比較教育学教授および、OWN & Associates(研究開発センター)所長、博士(教育学)。ケニアをはじめとするアフリカの教育に関する数々の本・論文を執筆。

### エクトル・バルデス

ユネスコラテンアメリカ地域事務所教育の質評価調査事業長、元キューバ中央教育科学研究所長

32年にわたり教壇に立つ。2002-2008年、キューバ中央教育科学研究所所長を経て、現職。学士(数学)、修士(教育調査)、博士(教育科学)。1995年よりラテンアメリカ地域の教育の質評価事業に携わり、関連する講義・講演をラテンアメリカ域内で行なう。域内各国ほかヨーロッパで教育の質に関する多くの著書・論文を執筆。